

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	人事委員会任用業務			事業番号	035-001
担当部署名	人事委員会事務局	局		部	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	— 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地方公務員法第8条第1項 (任用：同法第15条～22条の3)		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	就職活動中の学生及び転職志望者等 (令和3年度職員採用試験申込者)	対象数	3,152	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民サービスの向上と本市の持続的な発展に向け、受験者層の拡大を図り、受験者を獲得し、本市の将来を担う有為な人材を確保する。《本市が求める人材像》公務員としての高い志を持ち、市民と思いを共有できる人、幅広い視野と柔軟な思考力があり、やり抜くことができる人、堺への熱い思いを持っている人				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【実施した試験区分】</p> <p>令和3年4月～6月 大学卒程度 (事務【プレゼン型】、土木 (農学・造園を含む。)、建築、機械、電気、化学)、社会福祉、社会人 (土木 (農学・造園を含む。)、建築)</p> <p>令和3年6月～8月 大学卒程度 (事務)、心理、保健師、薬剤師、保育教諭、獣医師、就職氷河期世代対象 (事務、土木 (農学・造園を含む。)、建築)、消防吏員A・B (大学卒程度)、消防吏員C・D (大学卒程度 (航海・機関))、キャリア・リターン (事務職・技術職)</p> <p>令和3年9月～11月 高校卒程度 (事務、土木 (農学・造園を含む。))、機械、電気)、司書、学芸員<考古学>、学芸員<美術工芸>、精神保健福祉士、保健師、障害者を対象とした事務、社会人 (事務、土木 (農学・造園を含む。))、建築、設備、社会福祉、心理)、学校事務 (一般・障害者)、消防吏員A (高校卒程度)、消防吏員B (高校卒程度 (航海・機関))</p> <p>令和4年1月～2月 任期付職員 (保育教諭)、任期付短時間勤務職員 (事務)</p> <p>※実施する試験区分は、任命権者の採用計画に基づき決定するため、年度により異なる。</p>				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	佐川印刷株式会社、公益財団法人日本人事試験研究センター				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				297	283	164	—	
				307	331	—	—	
当該指標を選定した理由		本事業は本市の将来を担う有為な人材を確保することが目的のため、採用試験合格者数を指標とした。						
目標値の設定根拠・算出方法		採用予定人数と合格者数 ※R4年度目標値は、現時点で実施が決定した試験の採用予定人数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				1,000	1,000	1,000		
				776	1,320	—		
当該指標を選定した理由		本事業は本市の将来を担う有為な人材を確保することが目的のため、職員採用説明会参加者数を指標とした。						
目標値の設定根拠・算出方法		参加予定人数と参加者数						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	人事委員会任用業務	事業番号	035-001
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	16,166	20,993	32,211	20,970	31,381
13 財源内訳	国支出金					1,650
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	16,166	20,993	32,211	20,970	29,731
14	人件費 (b)	43,820	43,890	43,890	43,890	43,890
15	年間経費(c)=(a)+(b)	59,986	64,883	76,101	64,860	75,271

事業費の内訳

（単位：千円）

	項目	年度	事業費		項目	年度	事業費	
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	需用費（消耗品費・印刷製本費）	R3 決算	1,534	1,534	各業務委託料（試験会場管理・試験問題作成等）	R3 決算	6,291	6,291
		R4 予算	2,592	2,492		R4 予算	11,140	11,140
	広告料（就職情報サイト）	R3 決算	449	449	会場等借上料（コロナ対応含む）	R3 決算	2,127	2,127
		R4 予算	500	500		R4 予算	5,930	4,380
	手数料（適性検査等）	R3 決算	4,096	4,096	その他使用料及び賃借料（採用説明会等）	R3 決算	525	525
		R4 予算	2,687	2,687		R4 予算	1,242	1,242
	デザイン作成等委託料（職員採用ガイド等）	R3 決算	1,931	1,931	その他保険料、各種団体会費等	R3 決算	2,200	2,200
		R4 予算	2,400	2,400		R4 予算	2,221	2,221
	職員研修委託料（面接員）	R3 決算	450	450	その他物件費	R3 決算	1,367	1,367
		R4 予算	800	800		R4 予算	1,869	1,869

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	① 合格者数	人	307	331
	② 上記①にかかる年間経費	千円	64,883	64,860
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	211,345	195,952
備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症対策のためコストは増加傾向にあるが、面接試験においてはICTを活用し、ペーパーレス化を推進することにより、需用費の削減に努めており、コストは横ばいとなっている。受験者層の拡大を図り、受験者を獲得し、本市の将来を担う有為な人材を確保することができた。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>事業内容を実施するにあたり、下記の取り組みを行った。結果、事業目的である、受験者層の拡大を図り、受験者を獲得し、本市の将来を担う有為な人材を確保することに寄与できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による構造変化に伴い、学生等の就職・採用活動のあり方や就職意識が大きく変化中、全国的にも公務員の人材確保は厳しい状況が続いている。とりわけ、民間と競合する技術職（土木・建築等）や専門職（社会福祉職、保育教諭、保健師等）の人材確保は、非常に厳しい状況である。これらの状況を踏まえ、試験内容・実施時期の見直し等を行った。 ・HP・SNS（Twitter、Instagram）・Web説明会等さまざまな手段を用いてコロナ禍においても情報発信を行った。 ・東京事務所と連携してUターン、Iターンを希望する者等に対する広報活動を実施し、主な大学・専門学校等への直接的なアプローチを強化した。
----	--